

瀬戸内産花崗岩 犬島石（岡山市犬島）

花崗岩の産地で有名瀬戸内産花崗岩に属し、古くは大阪城築城の頃より関西を中心に使用されてきました。

この犬島産花崗岩は、大阪城の大石（蛸石）で有名ですが遠く鎌倉の鶴岡八幡宮の鳥居、江戸城まで使用されています。近年では京都けいはんな記念公園や京都迎賓館などにも用いられ、貴重な国内産花崗岩として利用しており、自然が作り出す柄を生かした、瀬戸大橋の記念碑などの芸術作品にも用いられるようになりました。



犬島の風景

犬島石の特徴は、国内産の中でも硬く「石傷」が少ない。このために、大材（最大で12m*

8m）までの石材が現在でも採取しております。また、「石目」に割れが早く「重ね目」がねばい特徴があります。このため、瀬戸内産花崗岩の中でも「ゲンノウ」が掛けやすく石積み用材に適しています。

おもな用途と加工

石積み用

割肌仕上 雑石積

野面石積

張り石用

磨き仕上

ピシャン仕上

ノミ切り仕上

壁石用

割肌仕上

磨き仕上

モニュメント

割肌仕上



犬島丁場 採石場

上記以外の石材として、20

0～500内外の野面石、50t迄の自然石等は景石として用いられており大阪の矢倉緑地、明石の大蔵海岸など大阪湾に広く用いられております。

採石方法

岩盤から石目に合わせて黒色火薬で切り出します。「すくい 傷により異なりますが、重機等の関係で

8 * 5 * 2 m (約 200 t)を一応の目安にしています。切り出された原石を用途に応じた寸法に「セリ矢」を用いて直角方向に小割りしており、この時の重量はショベルの大きさから 20t 位を目安にしており、工場に運び込みます。特別な用途に応じて採石する場合は、この段階から採石方法を検討し、用途に応じた石取りを行います。

(床用 壁用 鳥居用 その他:花崗岩の場合「石目方向」と「重ね方向」とでは圧縮強度が2倍近く異なり、用途に応じた強度と石材特性を考慮して採石するためです)



小割りされた原石



長尺物約 6 m ~ 8 m 厚 1 m



工場でのノミ切り

犬島石の色は3種類あり基本的には白系 錆系 ピンク系に大別されております。同じ岩塊であっても混ざったり上下で突然変異したり、我々でも良く解りません。(神のみぞ知る)

また、白色は採石した時は青み掛かった色ですが、次第に梨色になり落ち着きます。また、錆系は大柄が入ったり、ピンク系が混ざったりします。このため特別な用いる場合は、あらかじめ相談してください。(基本的に表面に鉄分が多く酸化しやすく、落ち着いた色調になります)

自然石のために 多少のバラツキがあります。参考までに
見掛比重：2.6g/cm³ 吸水率：0.3%
圧縮強さ：白系 1200～1700kgf/cm² 錆系 1200～1350kgf/cm²



ピンク模様



錆石で積まれたオブジェ



ピンク系で製作された作品



板石敷き (将来の再利用に耐える厚みを 80mm / m)



瀬戸大橋の記念石碑